

紫色素 大阪市社会福祉協議会 https://www.osaka-sishakyo.jp



大阪市社会福祉大会

によるまちづくり

ロナウイルス感染症対策とし 祉大会を開催しました。新型コ 際交流センターで大阪市社会福 て、昨年に引き続き規模を縮小

> 者・表彰状感謝状受賞者など約 して開催しましたが、大会関係 (2面につづく)

大阪国 500人が集いました。 をめざし

市社協は10月21日、

からない▼荒浜小学校、門脇 災前の道がどこだったのかわ だった様に自然になじみ、被 小学校、大川小学校と被災で 上げされた土地は元からそう HB ぶりに訪れた。かさ 東北の被災地を久し 長い間行けなかった



▲受賞者の方へ表彰状・感謝状を贈呈しました

年の気持ちが私にはわからな 海岸を仕事場に選んだ被災少 つホテルは安全だとは言え、 た▼かさ上げされた土地に建 分で豆をひいて飲んだコー か▼この日もこれまでに見た ヒーがとてつもなくうまかっ こともないような朝焼け。自

辺の町が嫌で都会に働きに出 語る従業員▼高校卒業後、海 なかったという辛い思い出を 式の前日で、結局、式はでき

たけれど、やっぱり海の景色

が忘れられなくて、故郷に

帰ってきた。その日から、晴

がらコーヒーを飲んでいると

大の日は毎日、朝焼けを見な

くれた。あの日は中学の卒業 ヒーを飲みませんかと誘って 明日の朝5時半にロビー集合

朝焼けを見ながらコー

島湾を望むホテルに泊まった

人懐っこい若い従業員が

んど出てこなかった町の、

いう被災のニュースにはほと

て回り、その夜、

七ヶ浜町と

有名になった学校跡などを見



# 福祉によるまちづくり. 大阪市社会福祉大会 をめざして

# された方々の 地域福祉に貢献 功績を称えて

既存の社会福祉制度だけでは 化しています。こうした課題は 活課題は複雑化・多様化・深刻 が増えるなど、地域における生 的孤立や生きづらさを抱える人 ながりが希薄化するなか、社会 化の影響を受け、住民同士のつ ては、急速に進展する少子高齢 ました。「地域社会におきまし 会にあたりあいさつをおこない 式典では、永岡正己会長が開

> しい活動も創り出し、時代に 間の苦難の経験をふまえて、新 染症による影響は今も継続して 広がりが求められています。 会全体で地域の人々に寄り添 対応できず、解決に向け、雇用 途絶えることのないよう、この おり、地域におけるつながりが 求められますとともに、地域社 体的で計画的な仕組みの発展が 教育・介護、生活保障などの総 い、その生活を支える取組みの また、新型コロナウイルス感

▲永岡会長による開会あいさつ できる、やさしさとぬ 安心して暮らすことが とりの人権が尊重さ 係団体などとの連携を 祉協議会をはじめ、 たすため、各区社会福 団体としての役割を果 祉を推進する中核的な か、本会では、地域福 るまちづくり』の実現 くもりのある福祉によ れ、誰もが自分らしく 層強化し、『一人ひ このような状況のな

てまいります」と述 に向け、取組みを進め

> ら表彰状・感謝状が延べ58団体 に対し、市社協会長及び市長か 社会福祉施設・団体従事者など 678人に贈呈されました。 ア、長年にわたり功績のあった が顕著な社協役員やボランティ 祉の推進に尽力され、その功績 その後、多年にわたり地域

け合い・支え合う地域づくり、 地域共生社会の実現が求めら り、福祉に関わるあらゆる活動 活課題は複雑化・多様化してお 主体が連携・恊働し、互いに助 り朗読された 「大会宣言 (案)\_ (要約) では 「地域における生 結びに、吉川郁夫副会長によ

> みの推進が必要となっている。 でのつながりを絶やさない取組 活への影響は今なお続き、地域 染症による社会経済や日常生 また、新型コロナウイルス感

ちな人々への見守り、生活支援 な担い手と連携して、孤立しが を促進するとともに、さまざま での場づくり、つながりづくり 発信をおこなうなど、可能な形 計画」に基づき、ICTを活用 2期 大阪市地域福祉活動推進 社会福祉協議会とともに、「第 した新たなつながり方の提案・

さらには、福 市民活動の情 ランティア・ 福祉活動、ボ 祉教育や地域 進めている。 相談支援を

り組んでいく必要があります。 あった地域福祉活動にさらに取

このようななか、本会は、区

報発信を通し

極的におこなっている。 て、担い手を拡げる取組みも積

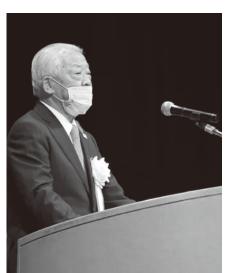
れている。

ら、地域課題を包括的に解決し 地域福祉を推進する中核的 働が必要不可欠であり、本会は ていくことが何より重要であ 団体としての役割を果たしなが ど関係団体・機関との連携・協 祉法人、NPO、行政、 には、地域住民の参画と社会福 こうした取組みを進めてい 企業な

り、安心して暮らせるよう、『一 もが身近な地域で人とつなが さしさとぬくもりのある福祉に 互いにもてる力を結集して、誰 り、地域福祉に関わる人々や団 会福祉大会を開催するにあ 採択されました。 進する」と宣言し、満場一致 よるまちづくり』を主体的に推 体・機関が連携をさらに強め、 人ひとりの人権が尊重されるや 本日、令和4年度 大阪市



▲延べ58団体・678人に表彰状・感謝状が贈呈されました



▲吉川副会長による「大会宣言(案)」朗読

# 東住吉区

# 前向き

# ボランティアスクール 今川地域の 歴史をつくってきた

10月28日、東住吉区今川地域

令和4年度 今川地域ボランティアスクール 今川ボランティア部部長の皆さん(上野谷所長を囲んで)

ティア・市民活動セン 学名誉教授の上野谷 域支援担当と包括支 加代子大阪市ボラン

長をはじめとしたボランティア 活動をしている方々、約100 人が参加しました。

ア部を組織化し、今では150 す。昭和59年には今川ボランティ 祉活動が各地で立ち上がった頃 地区に指定されるなど、地域福 市社協の小地域福祉活動モデル から活発に活動してきた地域で 今川地域は、昭和54年に大阪 八が属し、友愛訪問活

されてきましたが、今回は町会 学習の場として2年に1回開催 川ボランティア部」メンバーの クール」が開かれました。「今 で「今川地域ボランティアス

地域福祉活動に取り組 ターで週3回のふれあ 動や今川地域振興セン んでいます。 い喫茶を開催するなど

がりをつくり出してきた今川地

催。長年に渡りたくさんのつな きボランティアスクールを開

# を考える 活動のあり方 ボランティア

える機会としました。

今後の活動のあり方について考 域の活動をふりかえりながら、

ティア部が区社協の地 わってきた、同志社大 援担当の職員と相談 今 今川地域に長年関 回は今川ボラン 所長を講師に招 すること」「自分をほめ、 地域に必要なことを考え活動を ないといけないと気負わずに、 らわれるのではなく、志をひき

つぐこと」「ボランティアをし

自己肯

活動のポイントを伝えました。 むこと」といったボランティア 定感を高めながら楽しく取り組

東住吉区

地域活動を任せていく人がなか

どうしたらいいの

なか見つからず、

か悩んでいる」と

いう声があり、上

講義後の質疑応答で「今後の

見つける工夫を新たな活動者を



「おひさしぶり。おたがい歳とったね」との 切り出しから始まった上野谷所長の講義

子育て世代を誘う

野谷所長は、「思

い切って中高生や

か。ボラ

てはどう 活動をし

てだけで 活動とし ンティア

きましょう」と締めく ろんなことをやってい たたかく見守ることも から支えている人はあ もつこと。活動を周り していくという意識を はなく、仲間づくりを 大切」とアドバイス。 前向きに楽しんでい

ているからこそ、活動 い高齢者が増えてき いますが、外出しづら 活動の休止が続いて 子さんは「コロナ禍で 次弘子さんと香西俊 くりました。 ンティア部部長の金 企画した今川ボラ

助け・助けられることを文化に

上野谷所長は、今川地域は、

れ、「これまでの活動の形にと してきた地域であることにふ



▲約100人が参加し、今後の活動について考えました

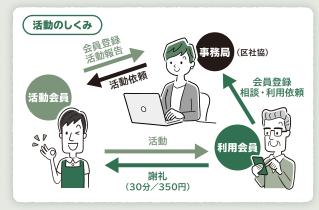
引き続きがんばりたいと考えて まで続いてきた活動をなくすの います。そのために今はまだ活 次の世代につなげられるように ではなく、今の時代に合わせて、 を再開していきたいです。ここ

抱負を語りま がっていきたい ない人ともつな 動に関わってい です」と今後の

# きづくちゃん「たすけ愛」活動の会

# 活動を立ち上げたきっかけ、ひとことメッセージ

平成27年に立ち上げました。この会を立ち上げるま で、区ボランティア・市民活動センターへの生活支援のボ ランティア依頼は、ほとんどありませんでした。しかし、地 域の高齢者に話を聞くと、ご近所同士の助け合いも少な くなり、自分なりに努力しながらなんとか生活している方 がおられることが分かりました。そこでお互いに助け合い ながら暮らせる仕組みとして有償の活動を始めました。助 け合いを有償にすることについてはさまざまな意見があ りましたが、話し合いを重ね、有償は"心づけ"の基準とし て分かりやすく設定し、頼み、頼まれやすい活動となるよ う取り組んでいます。



# 謝礼について

活動終了後、30分/350円を利用会員から、活動会員 に直接お支払いいただきます。

# 会員について

入会費

1.000円 (利用会員・活動会員)

利用会員

支援利用を希望する方 (区内在住の方のみ)

活動会員

支援活動を希望する方

(事前にボランティア講座の受講が必要)

活動にご賛同いただける方(企業・団体

を含む)

会費:1口1,000円/年

※利用会員と活動会員は両方登録すること も可能



▲通院の同行をしています

# 問合せ先

東成区社会福祉協議会活動 (きづくちゃん「たすけ愛」活動の会事務局)

住所 大阪市東成区大今里南3丁目11番2号 東成区在宅サービスセンター内

TEL 06-6977-6336

社会参加をして介護予防

助

かでのちょっとした困りごとを 活を送るためには、暮らしのな 誰もが元気にいきいきとした生 なかで、高齢者をはじめとして 予測されています。そのような の高齢者世帯のさらなる増加が 暮らしている高齢者や夫婦のみ る2025年が迫り、ひとりで 決する生活支援活動の充実 団塊の世代が75歳以上とな 社会参加をして自身で介護

所さん同士の支え合いで解決す

ちょっとした困りごとを、ご近

る「生活支援活動」という形が

者が感じる暮らしのなかの

切れたけれど椅子に乗って替え

のを運ぶのが大変」

「電球が

「買い物に行ったときに重

生活支援活動とは

地域住民の支え合いによる

るのが困難」というような高齢

れています 予防をすることが必要と考えら

も含めて活動に参加して活躍す ちょっとした困りごとを、 が市内でも広がりをみせていま にもつなげる「生活支援活動」 支え合いにより、 決するのではなく、 ることで、 からのサービス提供だけで解 そこで、暮らしの 生きがいや介護予防 高齢者の方々 地域住民の な か 専門 で

事業 いによる生活支援活動事業 活動を提供する「住民の助け合 支援者などに対して生活支援 活支援を必要とする在宅の要 地域にお住まいの高齢者が、 を展開しており、 では、大阪市介護予防ポイント 部の区で実施されています。 (※)の枠組みを活用し、 例えば大阪市 生

# 地域の実情に応じて展開

動は、 と立ち上がっている生活支援活 組みとして住民の支え合いのも なく、住民同士の助け合いの仕 ねたうえで地域の実情に合わせ あくまでも介護サービスでは 住民や専門職が検討を重

> 生活支援活動の 依頼内容例

家事援助、部屋の片づ け、庭の手入れ、外出付 添い、通院や通学の介 助、電球の交換など簡 単な作業、学習サポー ト、ペットの世話など

ネートの仕方もさまざまです。 また、活動のしくみやコーデ 組まれている活動もあります。 活動もあれば、地域単位で取り いる3つの生活支援活動につ 本誌では市内で取り組まれて 区内全域を対象にしている

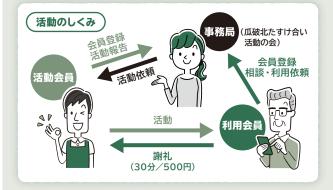
て実施されています。 そ 0)

多様な主体が生活支援活動

# 瓜破北たすけ合い活動の会

# 活動を立ち上げたきっかけ、ひとことメッセージ

平野区では区内の「有償による助け合い活動」の展開 を検討する「有償活動プロジェクトチーム会議」を平成 30年に発足し、小地域での活動創出を検討してきまし た。そのなかで公営住宅のみで構成され、高齢化率50% を超えている瓜破北地域をモデル地域と決定。瓜破北地 域、地域包括支援センター、行政などのチーム会議を経て 令和元年「瓜破北たすけあい活動の会」発足につなげまし た。事務局を地域に置き、マッチングも地域が担い、継続 しています。現在は他地域での展開をめざして、検討を重 ねています。



# 謝礼について

活動終了後、30分/500円を利用会員から、活動会員 に直接お支払いいただきます。

## 会員について

入会費

1,000円(利用会員·活動会員)

利用会員

支援利用を希望する方 (瓜破北地域在住の方のみ)

活動会員

支援活動を希望する方

(瓜破北地域で活動ができる方どなたでも)

応援会員

活動にご賛同いただける方(企業・団体



問合せ先

▲重いものも付き添ってもらえる ならと安心して買い物できます

## 平野区社会福祉協議会

住所 大阪市平野区平野東2-1-30 TEL 06-6795-2525

※地域内でのお問合せは瓜破北地域集会所まで

# 渗区 有償たすけあい活動 ~くしゃきょんのつながりネット~

# 活動を立ち上げたきっかけ、ひとことメッセージ

ひとり暮らしの高齢者が多い港区において「助けて欲し いけれど、なかなか言い出せない」そんな声をお聞きして いました。そこで介護保険の今後を見据えて、ちょっとし た困りごとに、30分300円をお支払いいただく「有償」に することで、遠慮なく依頼できるという新たな支え合い活 動として平成30年に立ち上げました。

利用会員は困りごとに対応してもらうことで支えられ、 活動会員は自分の得意を活かすことでやりがいを感じ活 力になっている、そんな「ささえあい」の活動になっていま す。



▲お宅に訪問し、お掃除

# 活動のしくみ

利用の流れ

▶港区社会福祉協議会へ電話(依頼)▶ 利用者宅訪問 (聞き取りと当サービス の説明) ▶依頼内容を各活動メンバー に電話▶依頼に応じる方がいれば成立

## 謝礼について

活動終了後、30分/300円を利用会員から、活動会員 に直接お支払いいただきます。

## 会員について

入会費 利用会員 なし

事業の主旨を理解いただける区内在住 の方(書面申込必要)

活動会員

活動を希望された方(年数回開催の有 償たすけあい講座の受講が必要)

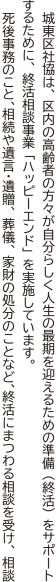
# 問合せ先

## 港区社会福祉協議会

住所 大阪市港区弁天2-15-1 TEL 06-6575-1212

# あなたの望む「人生の締めくくり」、一緒に考えます





内容に寄り添いながら司法書士などの専門家・事業者と協働し、解決をめざします。 死後事務のこと、相続や遺言・遺贈、 葬儀、 家財の処分のことなど、終活にまつわる相談を受け、

# つながっていく

検討を重ねてきました。 をつなぐための取組みについて 遺贈を受けたことでした。 その 者の福祉に活用してほしい」と 度に、ある区民の方から「高齢 贈を基に基金を設立し、思い 事業のきっかけは、 令和元年

はスタートしました。 和3年10月に「ハッピーエンド」 先進地への視察などを経て、令 区社協内や関係機関との協議 思いを持った方々がつながり、 東のために何かしたい」という がうかがえました。同時に、「城 活相談のニーズが多くあること 内容や地域の声などからも、終 また、区社協に寄せられる相談 立死のニュースも絶えません。 高齢者の割合が高く、近年、孤 大阪市は全国的に見ても独居



# 安心のはじまり 「ハッピーエンド」は、

部署とのコーディネートも の経験を活かし、相談業務のほ 佐野正博さんは、長く福祉に携 か、 活動も続けています。これまで 「ハッピーエンド」相談員 専門家との調整や行政や他 現在は民生委員としての

担っています。

せん。 時 中心ですが、それは今を安 で安心して思いっきり残り 方からの一言が忘れられま におこなう契約)を結んだ 0) 約"(自身が亡くなった後 初 委任は亡くなった後の話が しゃったのです。死後事務 の人生を楽しめる』とおっ 事務手続きなどを代わり めて "死後事務委任契 佐野さんは、事業開始後 その方が『あー、これ 「契約を結び終えた

> いると感じました。今をどう生 きるのか、それを一緒に考える ことなんだと思いました」

配ごとが多くあり、 れ、亡くなった後の心配はさる ことながら、亡くなるまでの心 いましたが、相談を受けるにつ この事業の主軸となると考えて 当初は、死後事務委任契約が それを一緒

> 添いながら支援しています。 が納得した形になるよう、寄り きっかけにつながった方の人生 問することもあります。 か」と電話をしたり、 者に「その後どうされています エンド」相談員は、後日、相談 ることを実感したと言います。 佐野さんをはじめ「ハッピー さらに広げて

# いくために

かるか心配」「元気なうちに誰 家に相談するといくら費用がか らいいのかわからない」「専門 えています。「どこに相談した 在的ニーズがまだまだあると考 区社協では、終活相談

に考え、支えるための事業であ 時には訪 相談を

いへの潜

誰かに支援してほしい」との ばいいですね」と話します。 発で、市内24区に広がってい 談も多く、区内の病院との意見 ます。また、「もし入院した時、 塾 (介護予防教室)」で、終活 で実施されている「なにわ元気 を受け、次年度は、区内31か所 の課題ではありません。 交換を始めています。 について学ぶ機会を計画してい かと話しておきたい」そんな声 佐野さんは「これは区内だけ 城東区 け

これからも取組みを進めていき あり続けられるよう、区社協は んな思いを身近に話せる場所で 心して最期まで暮らしたい。そ 誰かとつながりを持って、 安



▲城東区社協の河元義和事務局長(左)と佐野正博相談員

対象 城東区内在住の65歳以上で、身寄りが少なく、 人生の終い方の不安を一緒に考えたい人

内容の発の事務

に過ごすことにつながって

心してより良く、

より幸せ

相続・遺言・遺贈

財産等整理 など

# 、まずは/

相談日を予約ください — 事前予約制

TEL 06-6936-1153 (城東区社会福祉協議会 ゆうゆう)

相談無料 秘密厳守

葬儀・墓

# ② 相談日に来所

どのような解決方法があるか整理し、相談員と一緒に考えます。

※その日で解決方法が見つからない場合は、2回目の相談日を予約して いただきます。

# 3 2回目以降の相談日

相談員より、相談内容に沿った解決策などの情報提供や解決策

※相談員より関係する専門の機関・団体、専門職等の情報を提供する 場合もあります。

# 最近再開したふれあい喫茶の ようすを一部ご紹介

# 天王寺区桃陽地域

# 他地域の活動見学からヒントを得て

再開を望む声に背中を押されて



活動者が区内で再 開している他地域の活 動に見学に行ったこと が再開の後押しになり ました。

コロナ禍前に好評 だった手作りカレーや 焼きそばなどはお休み 中ですが、また再開し たいと思っています。

参加者が100人ほどいる

ため、再開に不安もありま したが、心待ちにしている

から早く再開してほしいと

の声も多く、少しずつ再開

コロナ禍の前のようにこ どもから高齢者、障がいの ある方が交流できる機会に

することにしました。

していきたいです。

喫茶」 間、中止・休止が続いている活 年4月から10月末時点までの になっています。 全体の約3割という結果 の活動状況をみると、

市社協では、

地域福祉活動の

けは「区社協主催の交流会で、 感染症対策や工夫を共有できた 受けられます。再開したきっか ことが再開の後押しになった」 の再開にふみきった活動も見 そのようななかでも、 |地域の活動再開に刺激を受 久しぶ

> ら得ながら再開している様子が めに必要なエネルギーを周囲か を押された」などさまざまです。 長期に渡る休止から動き出すた 再開してほしいとの声に背中 て、 地域で話合いを重ねた

間休止しながらも再開に至った 市内の「ふれあい喫茶」 ご紹介します。 を一 部

今 け

うかがえます。 今号では、コロナ禍で長

ながら交流を楽しむ「ふれあい

他

なたでも参加でき、

お茶を飲み

年が経とうとしていますが、ど

コロナが流行し始めてから3

も報告してきました。 推移を定期的に調査し、 における地域福祉活動の状況の から各区社協を通じてコロナ禍 きっかけとして、令和3年10月 た活動についてともに考える 再開やアフターコロナを見据え

本誌で

# い期

中央区高津地域

稚園、放課後児童クラブ等に報告のあった保育所や幼年の1年間に国 例が5件、意識不明が14件、332件増である。死亡事 うてきたのだろうか。 し数を合わせることに注力 一色であった。保育所を増やおける課題は待機児童対策 である。長年、日本の保育に そして骨折 故は2347件で前年比で発生した子どもの重篤事 で発生した子どもの れる保育の質をどこまで問 してきた。その一方で提供さ 内閣府によると、 が1888件等 令 和3

努力義務化した。そして、所での第三者評価の受審を 新制度の施行に伴い、保育年に、子ども・子育て支援 る。政府は平成27 (2015) 第三者評価という制度があ な立場から評価し公表する 三者機関が専門的、客観的スの質については、中立の第 社会福祉事業者のサービ

福祉活動状況調査」より

コ

ロナ禍における地

域

大阪公立大学大学院生活科学研究科 所 の推進を に おけ

る第三

一者評別

価

全装置を取り付けることを来年4月から送迎バスに安繰り返されるのか。政府はよって子どもの命が奪われよって子どもの命が奪われ ではない。 バスだけで起こっているわけ 義務化するが、 事故は通園

によると、2021年全国社会福祉協議会の

所の6・9%にすぎない。は1645件、全国の保

は1645件、全国の保第三者評価を受けた保育

育所に計

標に設定していた。しかし、三者評価を受けることを目(2019)年度末までに第

特任准教授

中島

尚

保障できるように整備しての実践に還元され、保育のの実践に還元され、保育のの実践に還元され、保育のの実践に還元され、保育のの実践に還元され、保育のの実践に還元され、保育のと結果の公表は、確実に日々 いくことが急務である。保障できるように整備して保障できるように整備して保障の安全と安心をはいる。何よりも事故が起 や、保護者へのアンケート、 されていないことや、費用的 が考えられる。しかしなが りての資料作成等の負担等 しての資料作成等の負担等 は国の補助金だけでは不十 ら、保育士自らの自己評価 と、事前準備と が考えられる。しかしなが が考えられる。しかしなが が考えられる。しかしなが のであること、事前準備と のであること、事前準備と や、 察に基づくフィードバッ第三者による保育実践の 保護者へのアンケー ク 観

# 【参考】

て(令和4年7月 7日) ●内閣府「令和3年教育・保育施設等 https://www8.cao.go.jp/shoushi/sh

inseido/outline/pdf/r03-jiko\_taisak

第三者評価事業の改善に向けて」(令和 4年3月4日 ●全国社会福祉協議会「福祉サービス

/p-20220304.pdf

http://www.shakyo-hyouka.net/pd

編集·発行人/吉村 浩

# 令和4年6月1日~11月15日の預託・払出は次のとおりです。

預託者名	預託内容	払出先
東洋炭素株式会社	- - 不織布マスク(3層構造) - 80,000枚	▶ 24区社会福祉協議会
ハクゾウメディカル株式会社	ハクゾウオートディスペンサー・ エレファジェル 各304個	<ul><li>大阪市地域福祉施設協議会</li><li>大阪市児童福祉施設連盟</li></ul>
日本毛織株式会社	抗原キット 579個 手袋(S·M) 各275個	<ul><li>大阪市地域福祉施設協議会</li><li>大阪市児童福祉施設連盟</li></ul>
東邦化成·大阪信用金庫 勝山支店	   柔軟剤 詰め替え用 480ml   10,368個	▶ 大阪市老人福祉施設連盟
マルコ株式会社	婦人用補正下着	▶ 大阪市児童福祉施設連盟
スマイルチルドレン	100,000円	▶平和寮
	911,331円	▶ 大阪市児童福祉施設連盟
安原記念福祉財団	200,000円 ※昨年度、事業中止したため 今年度に繰越し	▶ 帝塚山音楽祭
社会事業施設団体支援助成金		▶ 大阪市児童福祉施設連盟
		<ul><li>大阪市地域福祉施設協議会</li></ul>
		<ul><li>大阪市老人福祉施設連盟</li></ul>
		<ul><li>大阪市生活保護施設連盟</li></ul>
		<ul><li>大阪市障害児·者施設連絡協議会</li></ul>
成年後見制度推進助成		▶ 大阪市成年後見支援センター
地域づくり・つながりづくり応援助成金		▶ 大阪市地域福祉施設協議会
		▶ 住吉·住之江区放課後等デイサービス事業所等連絡会
		▶ 神路連合 囲碁・将棋クラブ
		▶ 元気休み Yu-Ya
		▶ 社会福祉法人 柿の木福祉の園

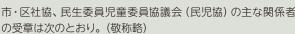


市社協では、「善意銀行」を通じて皆さまからの善意のご寄附を、施設や団体へ払い 皆さまの善意を大切

役立てています。



# 各種表彰



## 秋の叙勲・褒章

<藍綬褒章>(社会福祉功績)

川井 邦彦 (城東区民生委員児童委員協議会会長)

厚生労働大臣表彰、市民表彰の受賞者につきましては、次号で 掲載予定です。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上町安心 なまいの保険

www.ms-ins.com

# 名刺広告を掲載してみませんか?

本誌に掲載する名刺広告について、新春名刺広告(1月号に掲 載)・暑中名刺広告(8月号に掲載)のほか、毎月発行号でも随 時受け付けています。月1回28,000部を発行し、地域活動者、 社会福祉に関心のある方を中心に配付しています。

掲載希望月の2か月前までに、お問合せく ださい。

主な設置・配付場所は、各区社会福祉協 議会、各区老人福祉センター、各区子ど も・子育てプラザ、大阪市役所、各区役 所、各区図書館、各区民センター、地域の 会館、市内の市立小中学校などです。



## 【詳細はこちらから】

https://www.osaka-sishakyo.jp/ advertisement/



# 問合せ先 大阪市社会福祉協議会 地域福祉課

TEL:06-6765-5606